

① 実態把握シート

R 班

学校の課題

教師の課題

共通理解が低い

変化する

意識が研鑽にむいていない

実践力・授業改善の
実行力不足

授業のコーディネート力が
十分でない

改善を迫る
必要性

発表の機会が乏しい

振り返り活動が乏しい

算数の基礎力

基礎学力不足

基礎学力はあるが
活用できていない

図形(作図)が弱い
(空間図形)

意味を理解する

理解が深い

授業がわかり

2年生の意欲が低い

学び合いへの関わり

不十分

学級内の横のつながりが
弱い

話し合いの活動を通じて
深めたい

自分の考えを
話し合いで
深めたい

言葉で説明する
(理由の説明) 苦手

話し合いの
発言が
少ない

自分の考えを
話し合いで
深めたい

伝えたいが
苦手

自信がない

学習
リーダーの不在

話し合いの
発言が
少ない

話し合いの
発言が
少ない

話し合いで
深めたい

話し合い・コミュニケーション
不足

課題をまとめると...

教師：共通理解を深めたい。授業改善について。今更なる授業の目的、
リーダー育成、学級経営

生徒：基礎基本の底着。言葉の理解。→伝えたい。学びたい。

研究主題	
自らの教 え をもつて伝える ^{伝え} 学び 合わせる 生徒の 育成	
研究教科	小学校:国語・算数 中学校:全教科
目指す子供の姿	目指す授業像
<ul style="list-style-type: none"> 自らの教えをもつて伝える^{伝える}学び^{合わせる} 生徒 自信をもつ発言の主体性。 	<ul style="list-style-type: none"> わかる授業 自信をもつ授業 発言できる授業 ー

底着^{底着}を
もつた
学び^{学び}
の
基盤^{基盤}

研究の重点(柱) 2つ~3つ

A 授業改善

B 学び合い

C 基盤づくり

A: 授業改善の視点(3つ程度)

① 課題と手とめ^{手とめ}の整合性(提示の工夫等)

② 学び合いの場の設定

③ 底着

数字
のほ^ほい^い
自信^{自信}
の^の基^基
盤^盤

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

①番 全教科共通の板書・レベル活用。
見通しをたてる。
各学年ごとの目標づくり(学習のうけとめ)。
小け連携。つながり(小→中へ)。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

②番 10-10- 役割の確認。
ねらいを伝える。
場を設ける。(ペア・グループなど)。

③ 計画シート

R 班

月	内容			
4月	研究方針の提案	目指す授業像の共通理解	学力調査問題の出題傾向の把握	学力向上プランの策定
5月	模擬授業			学力調査の自校採点
6月	研究授業	講師招聘	授業交流	学力調査の結果分析
7月	授業アンケート			
8月	指導案検討	小中連携会議		
9月	模擬授業			学力向上プランの見直し
10月	要請訪問			
11月				
12月	授業アンケート			
1月				
2月	授業交流	検証		
3月	次年度の計画			